

BOX PC

**LB-HMB545 シリーズ
ユーザーズマニュアル**

Logitec

目次

取り扱い上のご注意	3
廃棄・譲渡時のデータ消去に関するご注意	8
ごあいさつ	9
本体使用上のご注意	10
1. 各部の名称と役割	12
2. 接続、使い方、基本操作	16
3. 目的に応じて設定を変更する	22
4. アプリケーションを使用する	29
5. 仕様	39

取り扱い上のご注意

本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。
必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

動作環境温度

- ・本製品は以下の温度条件下でご使用ください。
動作環境温度（ACアダプタ接続時）：0℃～40℃（湿度 20%～80% ただし結露しないこと）
保存環境温度：-10℃～60℃（湿度 10%～90%）

表示について

- ・この「取り扱い上のご注意」では以下のような表示（マークなど）を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解しながら本文をお読みください。



危険

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる可能性がある項目です。



警告

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。



注意

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



三角のマークは何かの注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。

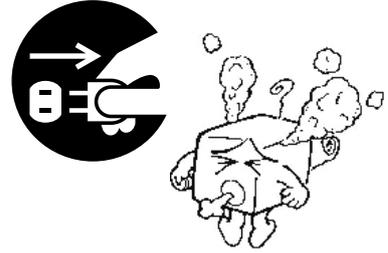


塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークはACアダプタのプラグをコンセントから抜かななければならないことを意味します。

警告

● 万一、異常が発生した時。

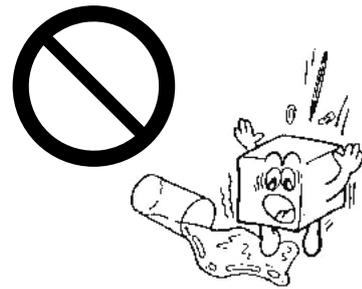
本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて弊社テクニカルサポートにご相談ください。



● 異物を入れない。

本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。

※万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り弊社テクニカルサポートにご相談ください。



● 表示された電源で使用する。

ACアダプタは必ず AC100V のコンセントに接続してください。



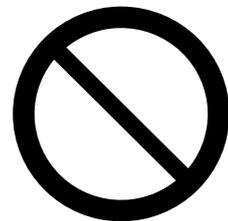
● ACアダプタを大切に。

ACアダプタは破損しないよう十分ご注意ください。コード部分を持って抜き差ししたり、コードの上にものを乗せると、被覆が破れて感電や火災の原因となります。



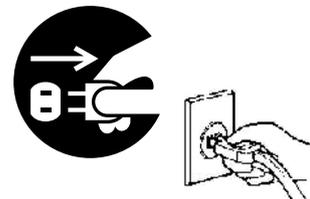
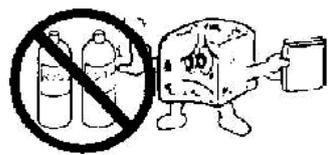
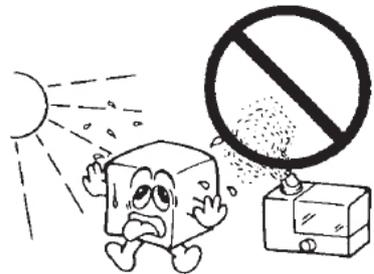
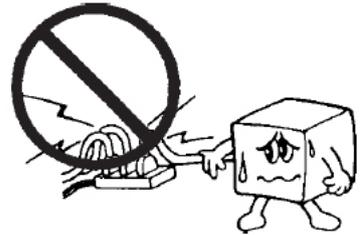
● 使用中は本体やアダプタ・コードに長時間触れて使用しない。

やけどや低温やけどの原因となります。



⚠ 注意

- ACアダプタはなるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本も延長したテーブルクリックの使用は火災の原因となります。
- ACアダプタのコードは必ず伸ばした状態で使用してください。束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。
- 高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用や保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。
- 本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用や保管は避けてください。
- 本体が汚れた場合は必ず電源を切ってから、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ軽くふいてください。（本体内に垂れ落ちるほど含ませないように気をつけてください。）揮発性の薬品（ベンジン・シンナーなど）を用いますと、変形・変色の原因になる事があります。
- 本製品を長期間使用しない場合は、ACアダプタのプラグをコンセントから抜いておいてください。



- 本製品には、有寿命品が含まれております。コンデンサ、ACアダプタ等の経時による劣化（輝度の変化、色の変化、輝度と色の均一性の変化、焼き付き、欠点の増加、感度低下、機能低下など）生じた場合は、保証期間でも有償修理とさせていただきます。
- 継続してご使用になる場合には、定期的なデータのバックアップ及びメンテナンス（有寿命品の交換、清掃）を行ってください。



■ 電波障害自主規制について

この装置は、クラスA情報技術装置です。

この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。

この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

■ 電波に関する注意事項

この機器の仕様周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、弊社テクニカルサポートまでご連絡いただき、混乱回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事態が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。
- 4 法令により、無線 LAN の 5GHz 帯の 5.3GHz 帯を屋外で使用することは禁止されています。5.2GHz 帯は条件付で屋外利用が可能です。

■ 無線LAN/Bluetooth とUSB3.0 機器を同時に使用する場合のご注意と対策

無線 LAN/Bluetooth と USB3.0 機器を同時に使用する場合に、電磁波の干渉により無線 LAN/Bluetooth の通信速度や接続時の動作などに影響が出る場合があります。

【対象デバイス】

- ・ USB3.0 ポートで接続する USB 機器すべて
- ・ 2.4GHz 無線 LAN(IEEE802.11b/g/n) 、および Bluetooth

【症状：例】

- ・ 通信可能距離が短い／不安定になる
- ・ 通信速度が遅い
- ・ 通信相手を認識しない／接続が切れる

【対策】

- ・ 5GHz の無線 LAN を利用する（無線 LAN）
- ・ 別の USB ポートに接続する（USB 機器）
- ・ USB 機器の位置を変更する（USB 機器）

廃棄・譲渡時のデータ消去に関するご注意

- ご利用の弊社製品を廃棄等される際には、以下の事項にご注意ください。
- 本製品を廃棄する際、内蔵ストレージに記録されたお客様のデータが再利用され、データが流出してしまうことがあります。
- 内蔵ストレージに記録されたデータは、「削除」や「フォーマット」を行っただけではデータが消えたように見えるだけで、特殊なソフトウェアなどを使うことにより、消したはずのデータが再生されることがあります。
内蔵ストレージ上のデータが第三者に流出することがないように全データの消去の対策をお願いいたします。また、内蔵ストレージ上のソフトウェアを消去することなく本製品を譲渡しますと、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますのでご注意ください。

ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書では製品の設定接続方法、機能や仕様等についてのご説明をいたします。ご使用前に必ずご一読ください。

ご注意

- ① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載することを禁止させていただきます。
- ② 本書の内容に関しては万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社テクニカル サポートまでご連絡願います。
- ③ 本書に記載されている機種名やソフトウェアのバージョンは本書作成時の情報です。最新情報については、弊社テクニカルサポートへお問い合わせください。
- ④ 本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容は、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。
- ⑤ 本製品に保存したデータについては、理由を問わず一切の保証はいたしかねます。誤操作、落雷などの自然災害、経年劣化や不慮の事故等による製品故障に備え、重要なデータはあらかじめバックアップ（データの複製）をお願いします。
- ⑥ 本製品の仕様はお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。
- ⑦ 本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。
- ⑧ 本製品は日本国内仕様です。海外での使用に関して弊社ではいかなる責任も負いかねます。また弊社では海外使用に関するサービス・サポートは一切行っておりません。
- ⑨ 本製品を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、弊社ではいかなる責任も負いかねます。あらかじめご了承ください。

■お問い合わせ窓口

技術的なお問い合わせ（テクニカルサポート）、修理受付窓口に関しては、製品添付の保証書に記載されています。

本体使用上のご注意

- ・ 本製品の耐衝撃落下性能、耐振動性能、防塵防滴性能は製品の無破損、無故障を保証するものではありません。
- ・ 動作温度範囲内であっても、急激な温度変化にさらすと故障の原因になりますのでご注意ください。
- ・ ACアダプタは必ず付属品をお使いください。付属品以外を使用しますと故障の原因になります。

マニュアル中の表示について

本機を使用するにあたり役に立つ情報の提供や、ハードウェアの破損、故障の可能性の警告のため、次の「メモ」、「重要」、「注意」の3つの記載が本マニュアルでは使用されています。



メモ

役に立つ情報を記載しています。



重要

知っておいていただきたい重要な情報を記載しています。



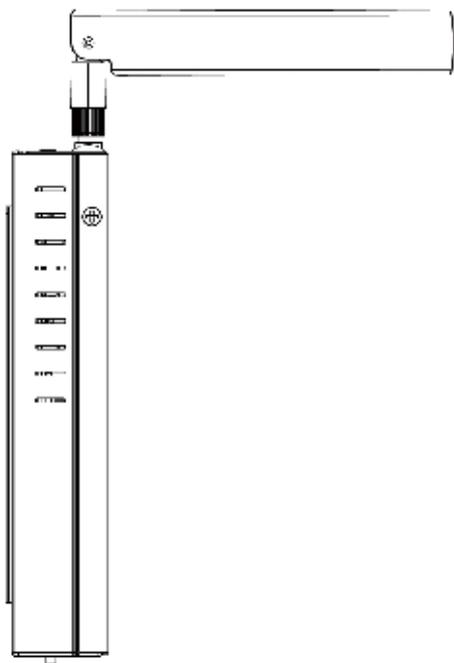
注意

ハードウェアの破損、故障の可能性があることや、問題を回避する方法を説明しています。

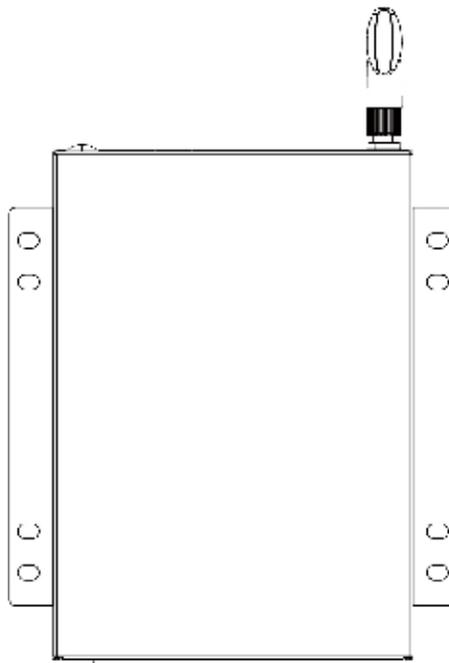
1. 各部の名称と役割

外観仕様

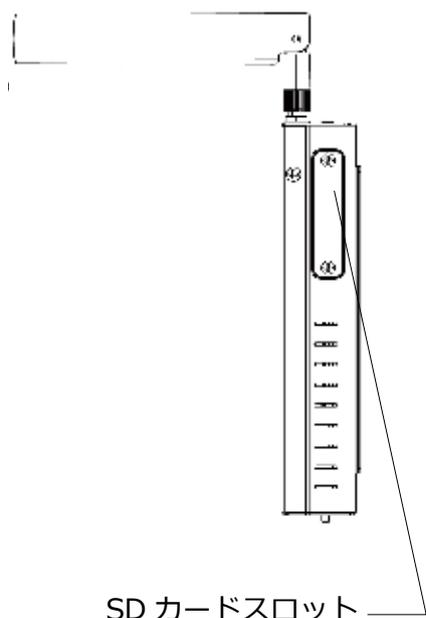
左側面



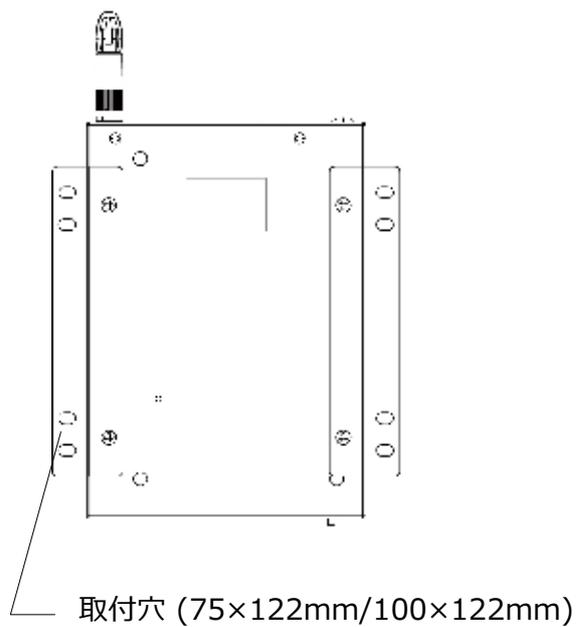
天面



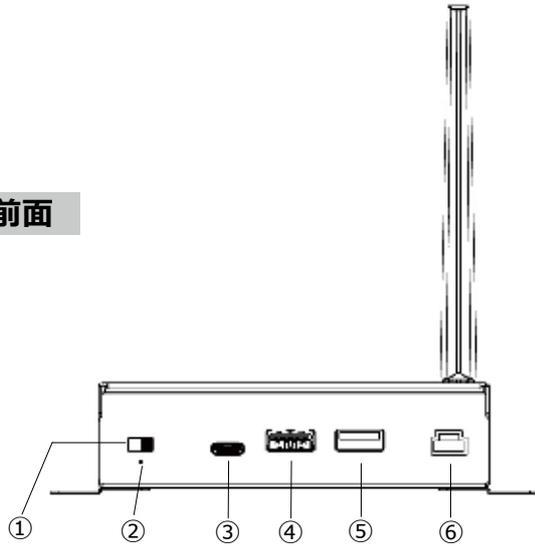
右側面



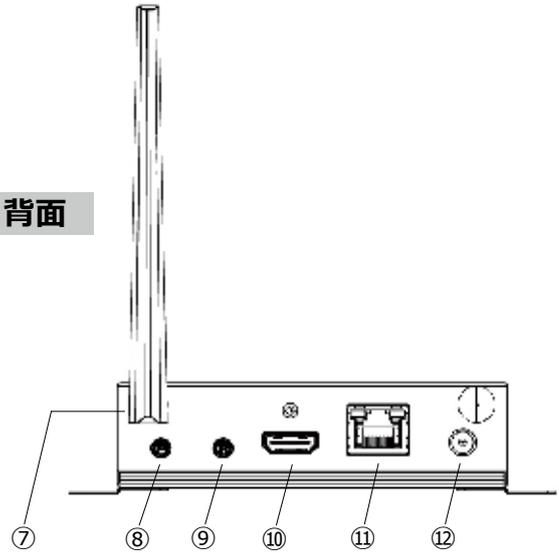
底面



前面



背面

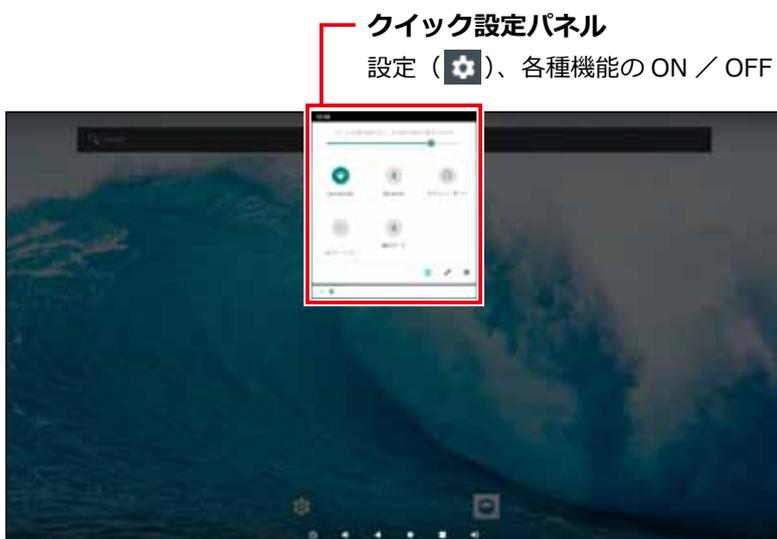
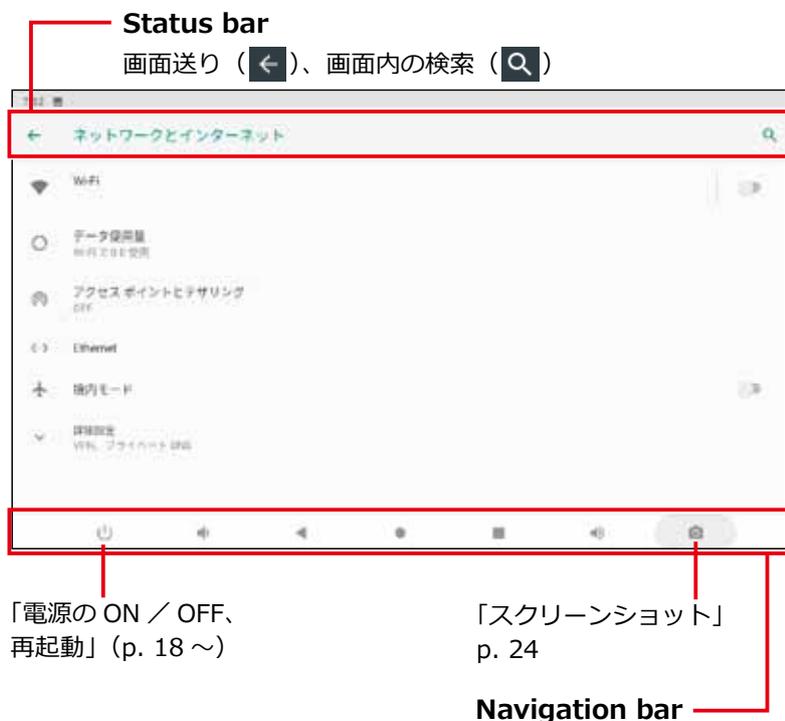


番号	名前	説明
①	電源スイッチ	端末の電源を ON/OFF します
②	電源ランプ	電源 ON で青色ランプが点灯、電源 OFF で消灯
③	USB3.2 Gen1(Type-C) ポート	USB3.2 Gen1 準拠、PC 等または USB デバイスと接続できます
④	USB3.2 Gen1(Type-A) ポート	USB3.2 Gen1 準拠、USB デバイスが接続できます
⑤	USB2.0(Type-A) ポート	USB2.0 準拠、USB デバイスが接続できます
⑥	RS232 ポート	RS232 通信ポートと接続します
⑦	無線 LAN アンテナ	無線 LAN の電波を受信します
⑧	近接センサ取付コネクタ	外付けの近接センサを接続します (オプション)
⑨	リモコン受信取付コネクタ	外付けのリモコン受信機を接続します (オプション)
⑩	HDMI コネクタ	HDMI 端子、HDMI 搭載のテレビやモニタと接続します
⑪	LAN コネクタ	1000BASE-T 準拠、ネットワークに接続します
⑫	電源コネクタ	専用 AC アダプタを接続します

画面の説明

画面の操作に使う、「Status bar」、「Navigation bar」、「クイック設定パネル」について説明します。次に、通知の確認方法を説明します。

「Status bar」、「Navigation bar」、「クイック設定パネル」

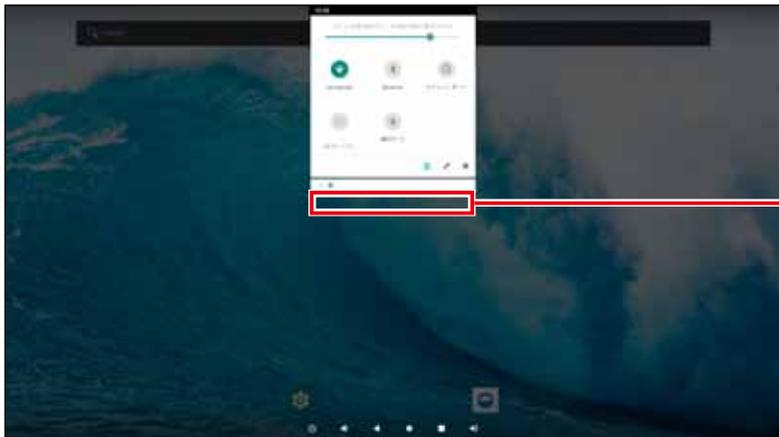


メモ

「Status bar」、「Navigation bar」、「クイック設定パネル」を非表示にする方法は、「Hide Status Bar 機能」(p. 23)を参照してください。

通知を確認する

1. 画面上部を下向きにスライドする
クイック設定パネルが表示されます。
2. クイック設定パネルの下部に表示される「通知」を確認する



通知が表示されます。

通知がない場合は表示されません。



メモ

クイック設定パネルの「サイレント モード」をクリックすると、通知が非表示になります。

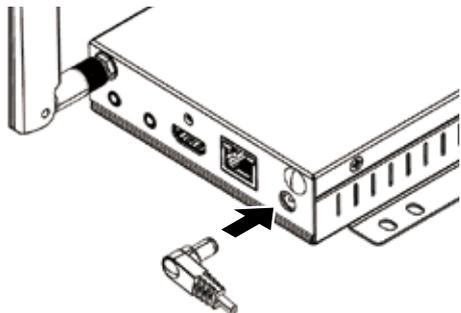
2. 接続、使い方、基本操作

接続

AC アダプタを接続する

本機に AC アダプタを接続するには次の手順で行います。

1. AC アダプタのコネクターを、本機の DC 入力に差し込む

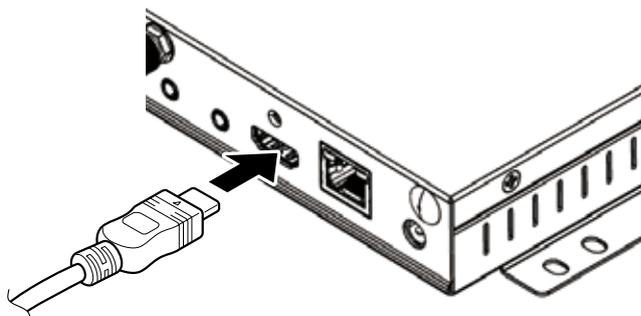


2. AC アダプタをコンセントに差し込む

ディスプレイを接続する

本機には、HDMI コネクタに対応したディスプレイを接続できます。次の手順で行います。

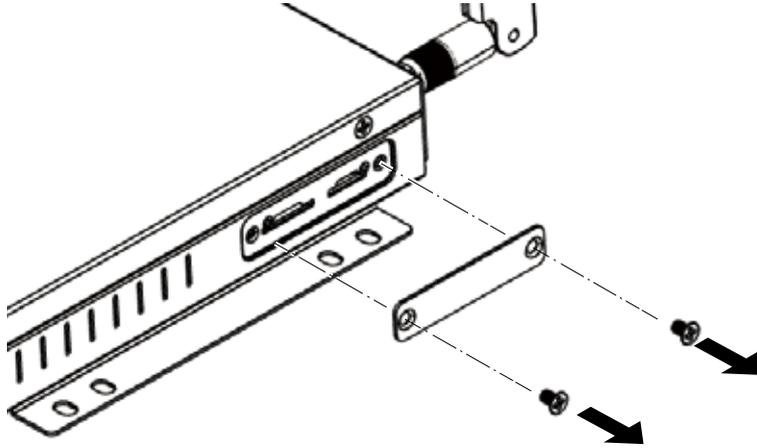
1. HDMI ケーブルを本機の HDMI コネクタに差し込む



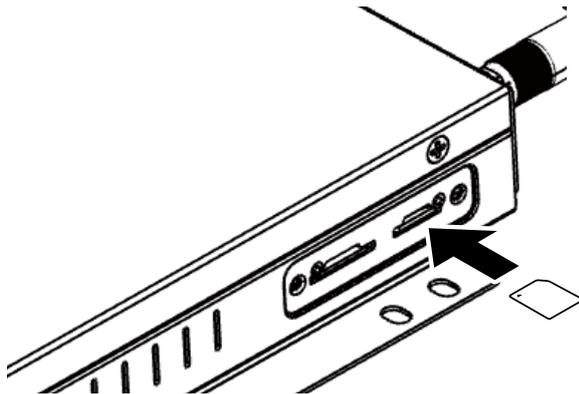
SD カードの取り付け

SD カードを本機のスロットに挿入します。

1. SD カードスロットのカバーのネジ 2 本をはずし、カバーをはずす

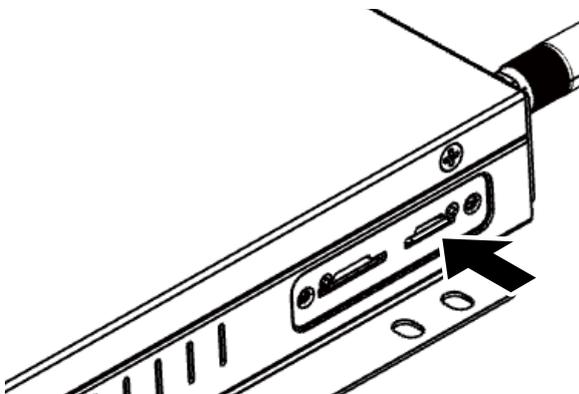


2. SD カードを本体のスロットに挿入する



■ 取り出すには

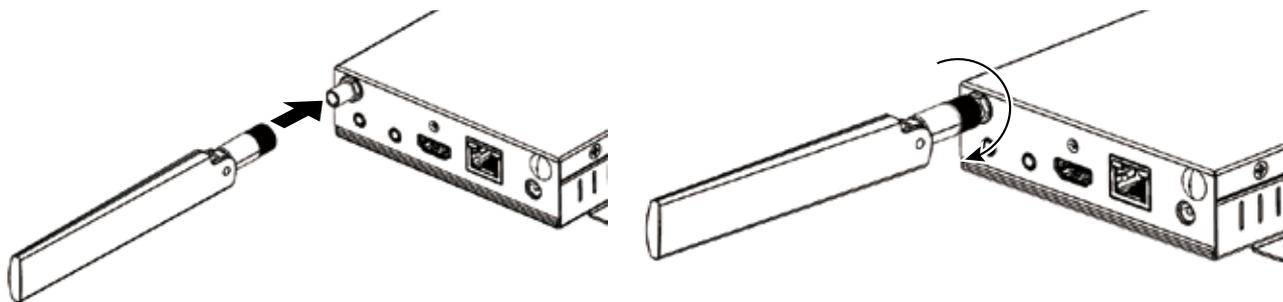
SD カードを取り出すには、挿入されている SD カードを軽く押してください。SD カードが少し出てくるので、まっすぐ引き抜いてください。



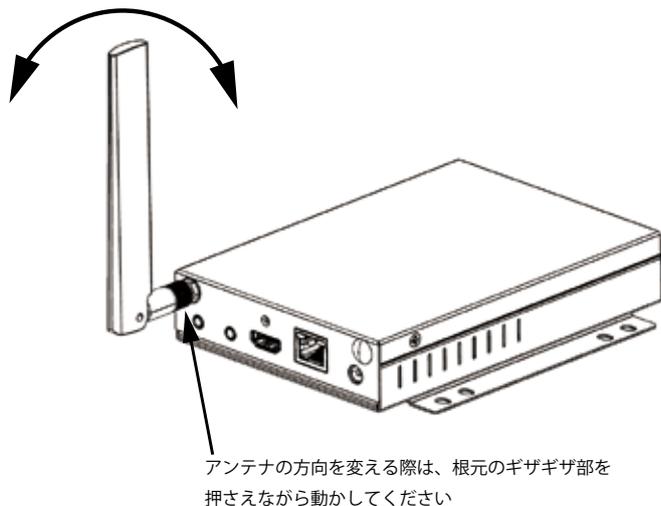
無線 LAN アンテナの取り付け

本機に無線 LAN アンテナを接続するには次の手順で行います。

1. 無線 LAN アンテナをアンテナコネクタに差し込み、時計回りに回して奥までしっかり締め込む



アンテナは回転方向にも可動できます。アンテナの方向を変える際は、根元をしっかり押さえながら動かしてください。

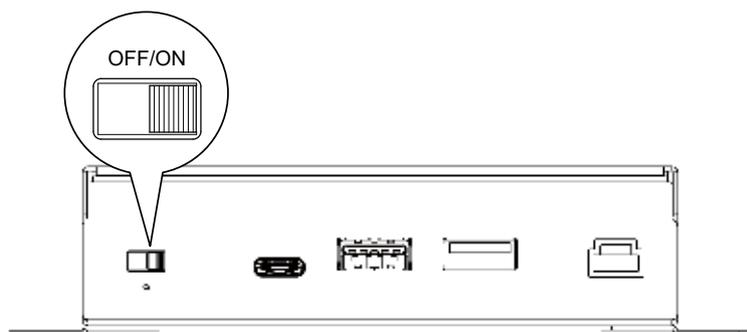


電源の ON / OFF、再起動

AC アダプタ、ディスプレイ、マウスを接続したら、電源を ON にします。本機の電源の ON / OFF、Reboot（再起動）は次の手順で行います。

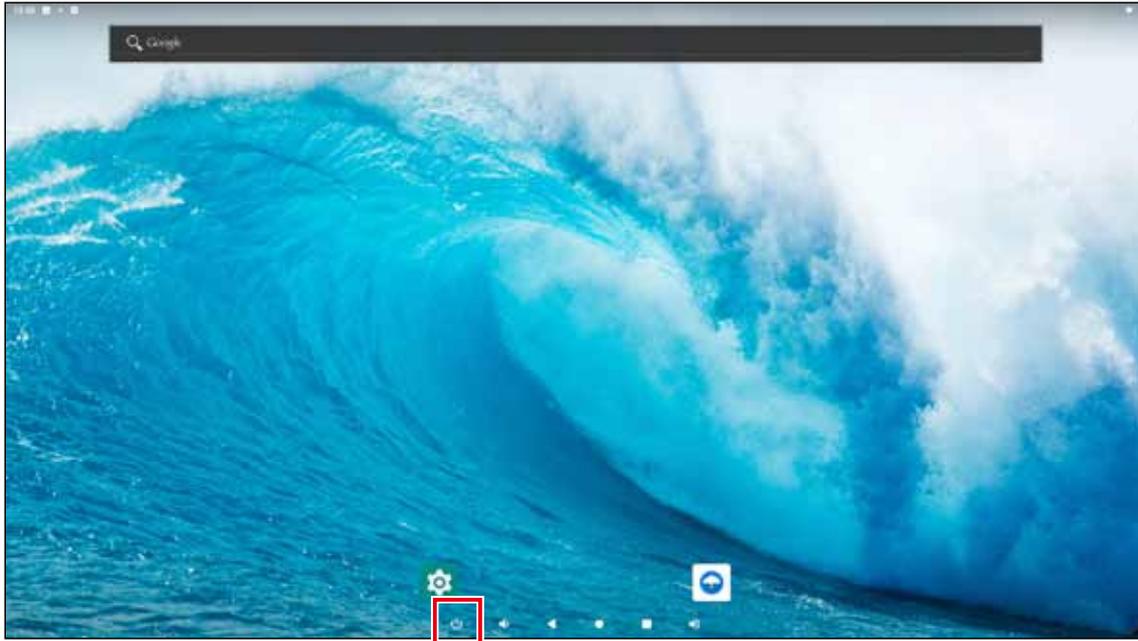
電源を入れる【電源 ON】

1. 電源スイッチを ON の位置に切り替える
電源ランプが点灯し、起動画面が表示されます。



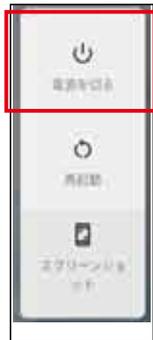
電源を切る【シャットダウン】

1. Status bar の「電源ボタン」をクリックする



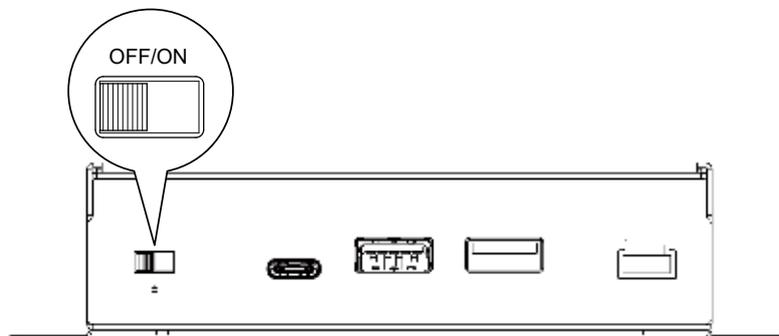
メッセージウインドウが表示されます。

2. 「電源を切る」をクリックする



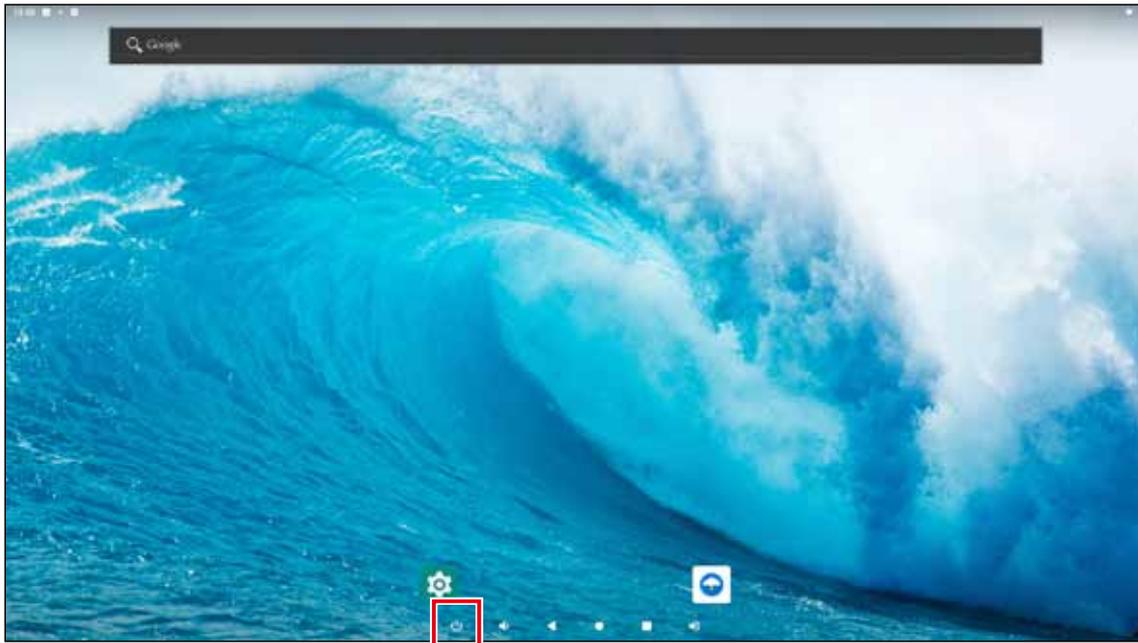
シャットダウンが実行され、画面と電源ランプが消灯します。

3. 電源スイッチを OFF の位置に切り替える



再起動する【Reboot】

1. Status bar の「電源ボタン」をクリックする



メッセージウィンドウが表示されます。

2. 「Reboot」をクリックする



再起動が実行されます。画面が暗くなった後ですぐに起動画面が表示されます。



注意

再起動実行中に本機からアダプタを抜かないでください。故障する恐れがあります。

出荷時の状態に戻す

内部ストレージの全データを消去し、出荷時の状態にリセットします。

端末のリセット【データの初期化】



注意

システムやアプリのデータと設定、ダウンロードしたアプリ、音楽、画像、他のユーザーデータを含む内部ストレージの全データが消去されます。バックアップが必要なデータはあらかじめUSB デバイスやSD カードに保存してください。

1. 「設定」をクリックする
2. 「システム」をクリックする
3. 「詳細設定」をクリックする
4. 「リセットオプション」をクリックする
5. 「すべてのデータを消去 (出荷時リセット)」をクリックする
6. 「タブレットをリセット」をクリックする



7. 「すべて消去」をクリックする



出荷時設定にリセットされ、再起動します。

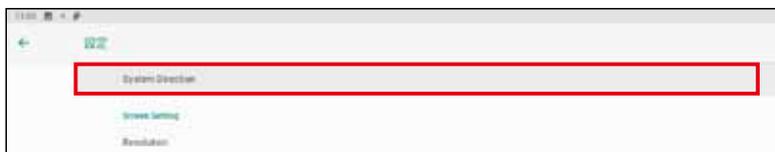
3. 目的に応じて設定を変更する

画面の向き（縦画面・横画面）を設定する【System Direction】

設定によって、画面の向きを縦画面・横画面に固定することができます。切り替えは次の手順で設定します。

画面の向き（縦画面・横画面）を設定する

1. 「設定」をクリックする
2. 「ディスプレイ」をクリックする
3. 「詳細設定」をクリックする
4. 「HDMI」をクリックする
5. 「System Direction」をクリックする



System Direction メニューが表示されます。

6. 固定したい画面の向きを指定する



項目	画面の向き
0	横画面
90	縦画面（右回転）
180	横画面（上下反転）
270	縦画面（左回転）



メモ

出荷時のデフォルト設定は「横画面（0）」です。

フルスクリーンモードを有効にする【Hide Status Bar 機能】

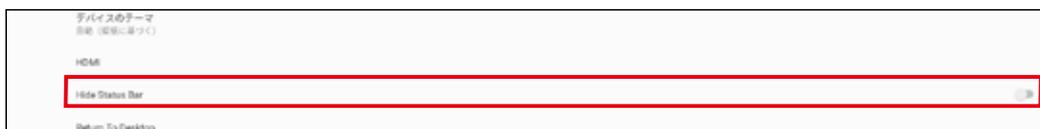
「Hide Status Bar 機能」を有効にすると、システムバー（Status bar、Navigation bar、クイック設定パネル）が非表示になり、フルスクリーンモードになります。「Hide Status Bar 機能」を有効にするには、次の手順で設定します。

「Hide Status Bar 機能」を有効にする

1. 「設定」をクリックする
2. 「ディスプレイ」をクリックする



3. 「詳細設定」をクリックする
4. 「Hide Status Bar」をクリックする



切り替えバーが右にスライドし、「Hide Status Bar 機能」が有効になります。

切り替えバー	バーの色	Hide Status Bar 機能
	緑	有効（システムバー非表示）
	グレー	無効（システムバー表示）



メモ

- ・「Hide Status Bar 機能」が有効のときはマウスを右クリックして前の画面に戻ります。
- ・「Return To Desktop」をクリックするとホーム画面に戻ります。



画面をキャプチャする【Screenshot】

「Screenshot」を使うとタブレットの画面領域全体を画像として保存できます。「Screenshot」を有効にするには、次の手順で設定します。

「Screenshot」を有効にする

1. 「設定」をクリックする
2. 「Screenshot Setting」をクリックする



3. 「Show the screenshot button in the statusbar」をクリックして、切り替えバーをスライド
画面の右下にボタン（）が表示されます。



Screenshot ボタン 

画面の右下のボタン（）をクリックすると、画面領域全体が PNG 形式で保存されます。



メモ

「Screenshot 設定」を無効にするには、「Show the screenshot button in the statusbar」をクリックして切り替えバーをスライドさせてください。

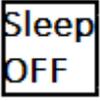
時刻を指定して本機をコントロールする【Schedule 機能】

指定した時刻に本機をシャットダウン、再起動、スリープモードの ON / OFF させることができます。時刻や繰り返しの設定は次の手順で行います。

動作を選択する【Schedule 機能】

1. 「設定」をクリックする
2. 「システム」をクリックする
3. 「詳細設定」をクリックする
4. 「Digital signage options」をクリックする
5. 「Schedule」をクリックする
6. 設定したい動作のアイコンをクリックする



アイコン	概要
	指定した時刻にシャットダウンします
	指定した時刻に再起動します
	指定した時刻にスリープモードに切り替わります
	指定した時刻にスリープモードから復帰します

動作の時刻を設定する【Time】

1. 「Time」 をクリックする
2. 設定したい時刻をクリックする

午前の場合は円の外側（1～12）、午後の場合は円の内側（00～23）の数字をクリックします。

設定画面	設定
	時（1～12、00～23）
	分（00～59）

たとえば、20:30 に設定したときは次のようになります。



3. 「OK」 をクリックする



注意

「Sleep ON」と「Sleep OFF」を同時刻に設定することはできません。エラーメッセージが表示されますので、時刻の設定をやり直してください。

動作の繰り返しを設定する【Repeat】

1. 「Repeat」 をクリックする
2. 動作を繰り返す曜日を選択し、「OK」 をクリックする
複数の曜日を選択することができます。

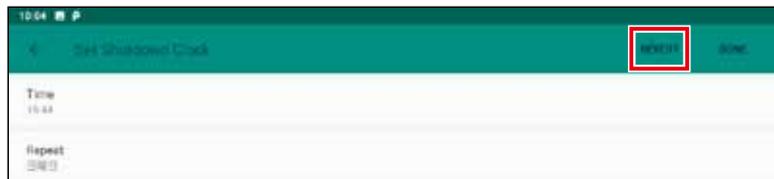


曜日を選択していない場合は「Never」と表示されます。

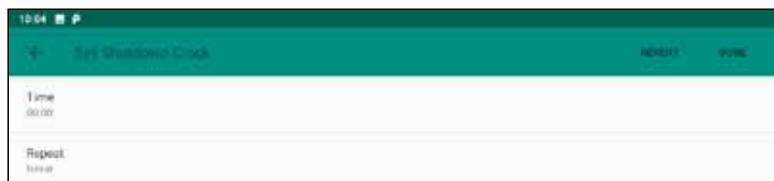
3. 画面右上の「完了」 をクリックする

時刻と繰り返しの設定をリセットする

1. 画面右上の「REVERT」 をクリックする



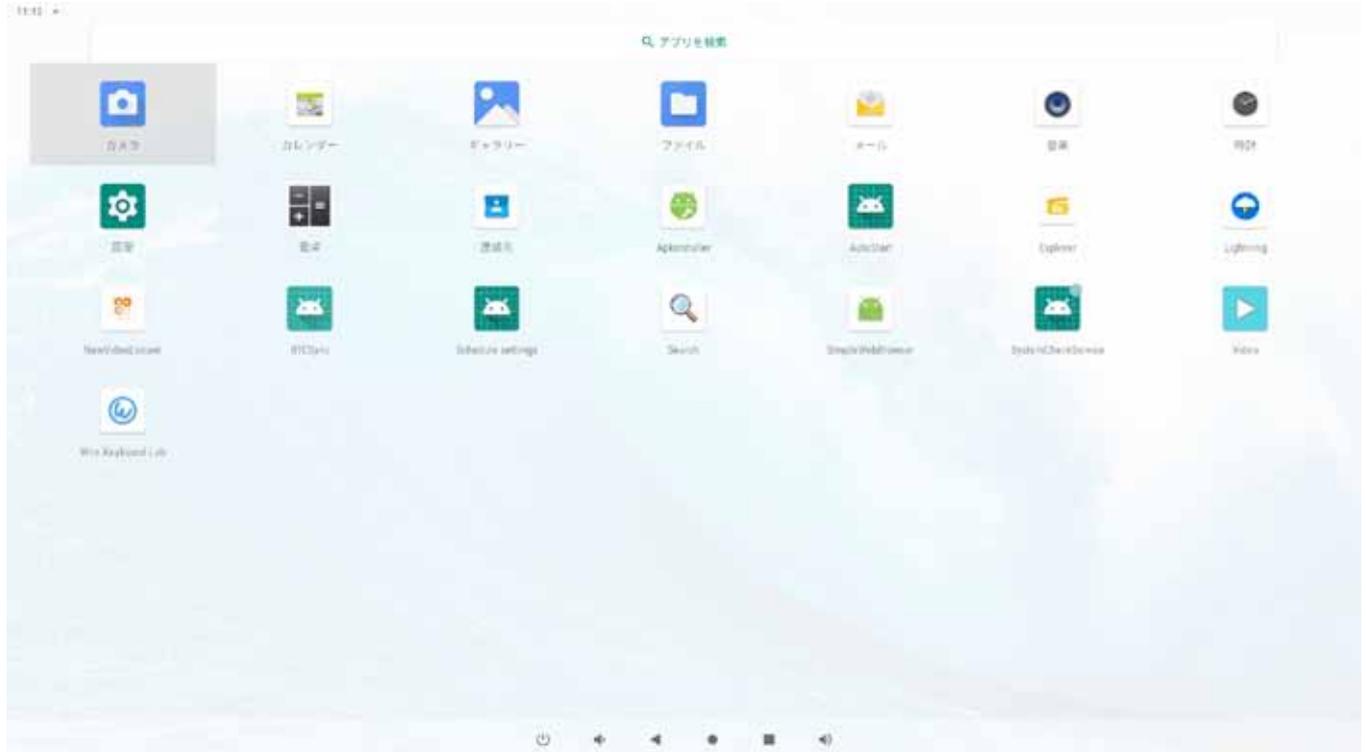
設定されていた動作と時刻の設定がリセットされます。



4. アプリケーションを使用する

インストールされているアプリケーション

インストールされているアプリケーションは次の通りです。



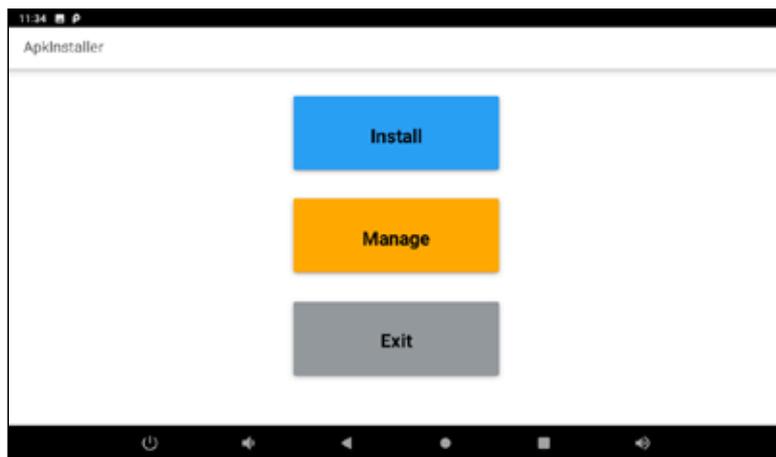
ソフトウェア名称	概要	参照
カメラ	静止画や動画を撮影します。	
カレンダー	カレンダーを利用して、スケジュール管理ができます。	
ギャラリー	静止画や動画の閲覧／整理ができます。	
ファイル	ダウンロードしたファイルを表示します。	
メール	電子メールを送受信します。	
音楽	音声データを再生します。	
時計	日時表示、及び、アラームの設定ができます。	
設定	端末の各種設定を行います。	
電卓	数値演算、関数演算ができます。	
連絡先	電話番号、メールアドレス等を管理します。	
ApkInstaller	APK ファイルのインストールができます。	p. 30
AutoStart	追加したアプリを自動起動するように設定できます。	
Explorer	ファイルの管理ができます。	
Lightning	ブラウザを利用してウェブページを閲覧できます。	
NewVideoLooper	動画再生を全画面で表示します。	p. 36
Schedule settings	時刻を指定して本機をコントロールできます。	p. 26
Search	ウェブ、端末内の検索をします。	
SimpleWebBrowser	Web ブラウザを全画面で表示します。	p. 33
Video	簡単な動画編集を行います。	
Wnn Keyboard Lab	日本語入力	

アプリケーションを追加する【ApkInstaller】

USB メモリまたは SD カード経由でアプリケーションを追加します。

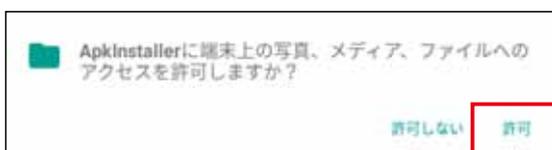
USB メモリまたは SD カードに保存したアプリケーションを追加する

1. USB メモリまたは SD カードをセットする
2. ホーム画面を下からスワイプする
3. 「ApkInstaller」をクリックする
ApkInstaller アプリが起動します。

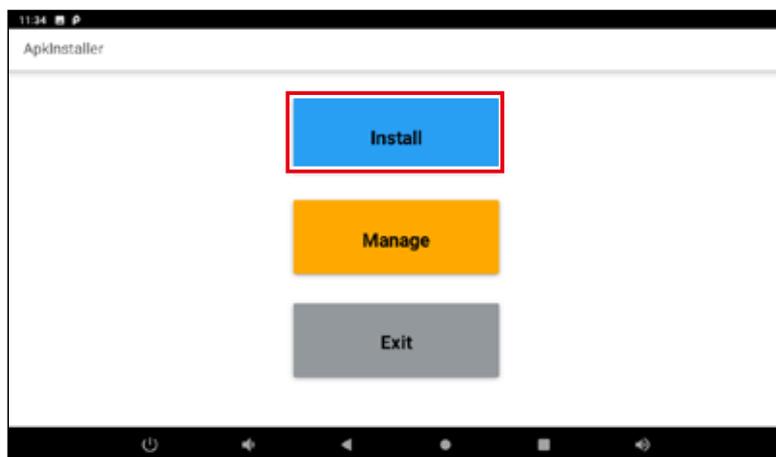


メモ

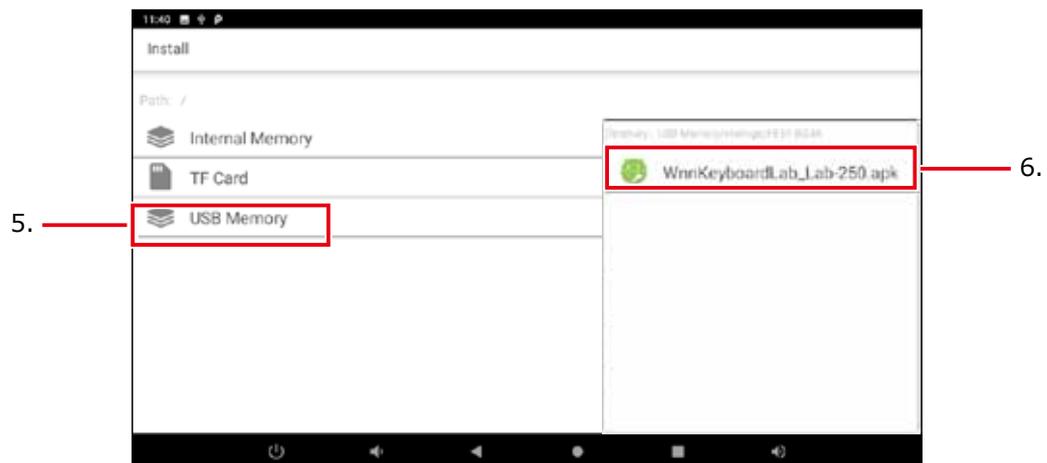
次のメッセージが表示された場合は「許可」をクリックしてください。



4. 「App Install」をクリックする



5. アプリケーションのデータ（.apk 形式）の格納場所をクリックする
6. インストールするアプリケーションをクリックする



メッセージ画面が表示されます。

7. 「インストール」 をクリックする



アプリケーションが追加されます。

1.「完了」または「開く」をクリックする



「開く」をクリックするとそのまま追加したアプリケーションが起動します。



Web ブラウザを全画面表示する【SimpleWebBrowser】

「SimpleWebBrowser」は Web ブラウザを全画面で表示するアプリケーションです。表示する URL を指定して、電源 ON (OS の起動) と同時に Web ブラウザを表示できます。

「SimpleWebBrowser」の設定

1. ランチャーアイコンをクリックする
2. 「SimpleWebBrowser」をクリックする



メモ

出荷時はデフォルトで次のページが表示されるように設定されています。

<https://pc.logitech.co.jp/>

3. ディスプレイ左上の角を 8 秒以上長押しする



URL 入力フォーム、「Settings」、「Edit Security」が表示されます。

項目	概要
URL 入力フォーム	Web ブラウザを立ち上げたときに表示したい Web サイトの URL を設定します
Settings	SimpleWebBrowser の各種設定を行います
Edit Security	SimpleWebBrowser の各種設定を行うためのパスワードを管理します

■ URL の指定

Web ブラウザを立ち上げたときに表示したい Web サイトの URL をフォームに入力します。

■ Settings



項目	概要	デフォルト
Enable Schedule Time	指定した時刻に再起動します	有効
Set Reboot Time	再起動する時刻を設定します	02 :00
Enable Auto Refresh Web	ページの自動更新を有効にします	有効
Auto Refresh Time(Seconds)	自動更新する時間を秒単位で指定します	30
Enable Auto Start	電源 ON (OS 起動) と同時に、Web ブラウザを表示します	無効
Exit	Web ブラウザのページに戻ります	-

■ Edit Security



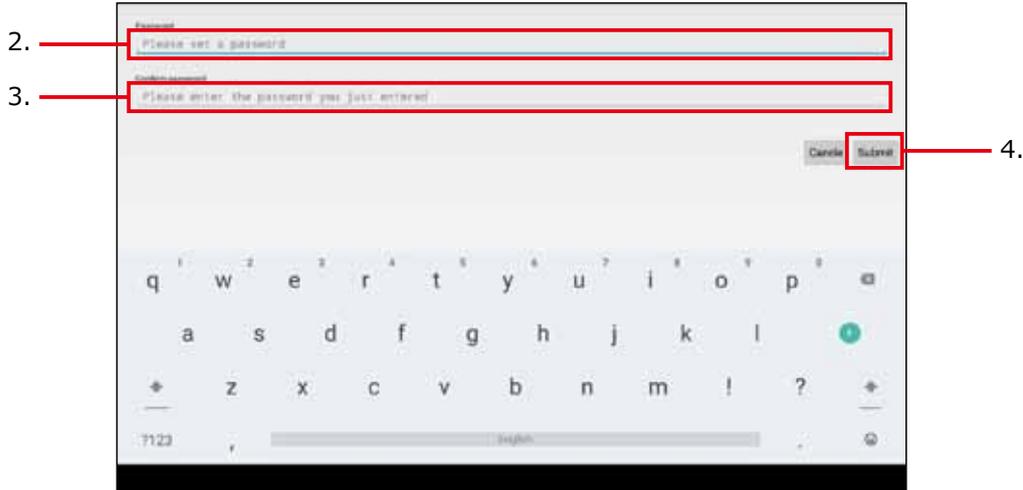
メモ

出荷時はパスワードが表示されていません。

1. 「Password」 をクリックする



1. 設定したいパスワードを入力する
2. 確認のためにもう一度同じパスワードを入力する



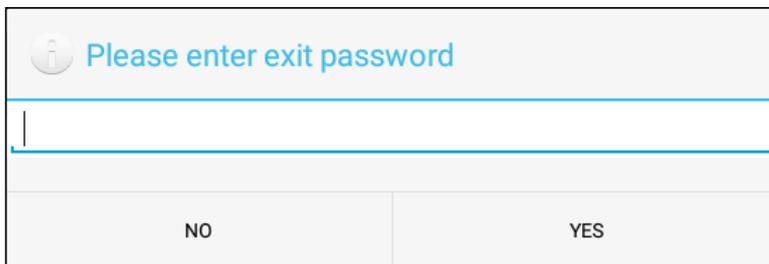
3. 「Submit」 をクリックする

SimpleWebBrowser の各種設定を行うためのパスワードが登録されます。



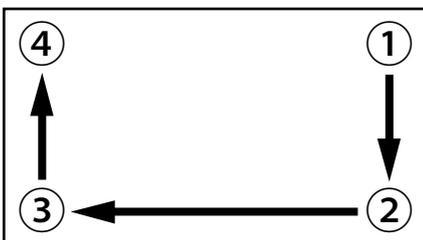
メモ

「SimpleWebBrowser」の設定を行うとき・アプリを終了するときにパスワードの入力が求められます。



SimpleWebBrowser を終了する

SimpleWebBrowser を終了するときは、画面を下図の順にマウスをドラッグします。それぞれ画面の角に沿ってゆっくりドラッグしてください。



メモ

SimpleWebBrowser を起動して次回端末起動後は、自動的に「Hide Status Bar 機能」(p.23) が有効になり、システムバー (Status bar、Navigation bar、クイック設定パネル) が非表示になります。

動画コンテンツを全画面で連続再生する【NewVideoLooper】

「NewVideoLooper」は動画コンテンツもしくは画像ファイルを全画面で連続再生するためのアプリケーションです。SDカードに動画コンテンツもしくは画像ファイルをコピーすることで本機の起動と同時に再生させることができます。

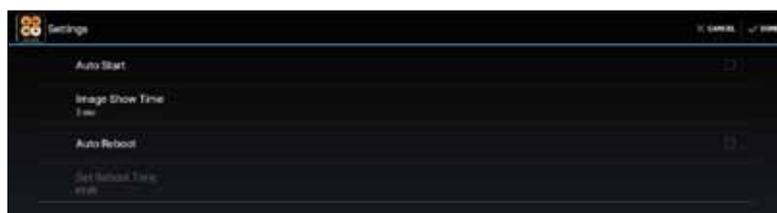
「NewVideoLooper」の設定の準備

1. SDカードのルートディレクトリに「CONTENT」フォルダを作成する
2. 「CONTENT」フォルダに動画ファイルもしくは画像ファイルをコピーする
3. SDカードを本体に装着する

「NewVideoLooper」の設定

1. ランチャーアイコンをクリックする
2. 「NewVideoLooper」をクリックする

設定画面が表示されます。

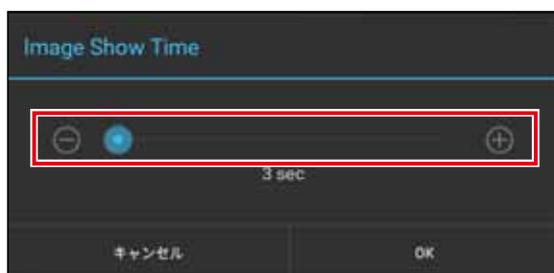


項目	概要	デフォルト
Auto Start	電源 ON (OS 起動) と同時に動画再生を開始します	無効
Image Show Time	静止画像の表示時間を設定します	3 sec
Auto Reboot	定時刻に本体を再起動します	無効
Set Reboot Time	再起動する時刻を設定します	無効



メモ

「Image Show Time」で設定できる値は3秒～120秒です。



1. 設定画面右上の **✓ DONE** をクリックする

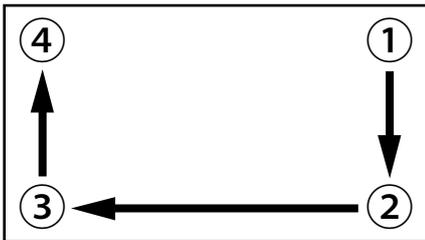
CONTENT フォルダのコンテンツが全画面で再生されます。



動画コンテンツ再生イメージ

NewVideoLooper を終了する

NewVideoLooper を終了するときは、画面を下の図の順にマウスをドラッグします。それぞれ画面の角に沿ってゆっくりドラッグしてください。

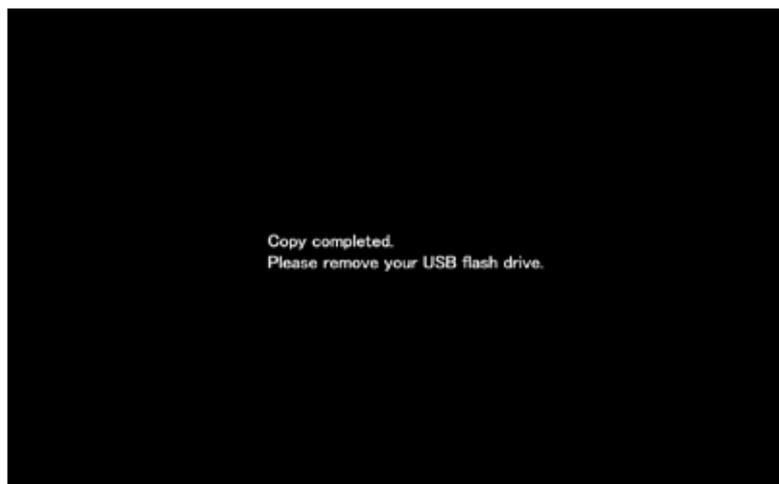


動画コンテンツを更新する

1. "updatemedia=yes" を記述したテキストファイル「userinfo.txt」を作成する
2. USB メモリのルートディレクトリに「userinfo.txt」と最新の動画ファイルまたは画像ファイルをコピーする
3. USB メモリを本機に装着し、「NewVideoLooper」を起動する
USB メモリに保存したファイルがカードにコピーされます。



動画ファイルまたは画像ファイルの更新が完了します。



4.USB メモリを外す

5. 仕様

製品仕様

項目		LB-HMB545
ディスプレイ		–
OS		Android 9.0
CPU		Rockchip RK3399(Dual Core Cortex A72 1.8GHz with Quad Core A53 1.4GHz)
メインメモリ		2GB DDR3 SDRAM
ストレージ容量		16GB eMMC
インターフェース	USB	USB2.0 (Type-A) × 1
		USB3.2 Gen1 (Type-A) × 1
		USB3.2 Gen1 (Type-C) × 1 *OTG 対応
	HDMI	HDMI × 1 (最大 3840 × 2160 解像度 但し縦向き静止画の場合は横 1080 × 縦 1920 解像度まで)
	サウンド関連	HDMI Audio
	シリアル	RS232 × 1
	近接センサ	近接センサコネクタ × 1 (オプション)
	リモコン受信機	リモコン受信機コネクタ × 1 (オプション)
通信機能	有線 LAN	10/100/1000Mbps (RJ45 × 1) Auto MDI-X 対応
	無線 LAN	IEEE802.11 a/b/g/n/ac (2.4GHz/5GHz) 5GHz の周波数帯域 : W52/W53/W56 *W56 のみ屋外可能 セキュリティ : WPA2-PSK (AES)、WPA-PSK (TKIP/AES)、WEP (64/128bit) IEEE 802.1X (EAP-TLS, EAP-TTLS, PEAP)
	Bluetooth	Bluetooth 4.2 (Class2)
メモリーカードスロット		micro SD/SDHC/SDXC カードスロット × 1 (最大 64GB)
カメラ		なし
内蔵マイク		なし
センサー		なし
バッテリー		なし
電源ユニット (AC アダプタ)		入力 : AC100-240V 50/60Hz、出力 : DC12V 2A
消費電力		約 17W (最大負荷時)
動作環境	動作時	温度 : 0℃ ~40℃、湿度 : 20%~80%
	非動作時	温度 : -10℃ ~60℃、湿度 : 10%~90%
取付寸法		75 × 122、100 × 122mm
外形寸法 (本体のみ)		153.3 × 133.4 × 30.6 mm
質量 (本体、アンテナ込み)		480g
付属品		AC アダプタ、アンテナ

メディアフォーマット

種類	ファイル形式
音声	AAC、MP3、WMA、WAVE
静止画	JPEG、GIF、PNG、BMP
動画	MPEG4、H.264/AVC

